

令和3年度 第1回 大垣市図書館協議会 会議録（要旨）

- 1 と き 令和3年7月9日（金）14時～15時25分
- 2 ところ 大垣市立図書館3階 会議室
- 3 出席者 （委員）
田村弘司委員、石橋豊之委員、福井真由美委員、西田拓郎委員、
近藤則朗委員、佐久間理恵委員

（事務局）
山本教育長、寺嶋教育委員会事務局長、加代図書館長、
大江図書館主幹、長瀬図書館主幹、早崎図書館主幹
- 4 欠席者 伊藤千賀子委員
- 5 傍聴者 なし
- 6 次 第
 - (1)報告事項
 - ①図書館の概要について
 - ②令和2年度の事業報告について
 - ③令和3年度図書館の利用に関するアンケート調査報告結果について
 - ④先端技術を活用した図書館サービスの充実（電子書籍の充実）に向けた株式会社アルファポリスとの連携について
 - ⑤先端技術を活用した図書館サービスの充実に向けた京セラコミュニケーションシステム株式会社との連携について
 - ⑥図書館における新型コロナウイルス感染症対策について

(2)その他

1 開会 14:00

(事務局)

令和3年度 第1回 大垣市図書館協議会を開催する。

2 委員委嘱について

机上配布

3 あいさつ

(山本教育長)

本日はお忙しい中、図書館協議会にご出席いただき、お礼申し上げます。また皆様方には図書館協議会委員をお引き受けいただき、重ねてお礼申し上げます。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、図書館の利用制限や講座等の事業の一部縮小など、感染防止策を継続実施している。最近は新規感染者の数も減少し、落ち着いてきているが、東京五輪の開催を機に第5波の到来も懸念されており、これからも感染防止対策に万全を期して取り組んでいきたい。

一方で利用者サービスの向上のため、民間企業との間で連携協定を結んだ。一つは絵本の電子書籍のサービス提供のため、(株)アルファポリスと連携協定を締結した。もう一つは、図書館の利用カードシステムを活用できるよう、京セラコミュニケーションシステム(株)との間で連携協定を締結した。のちほど事務局より詳細を説明させていただくが、今後も図書館サービスの充実に努めていきたいと考えている。

今日の委員会では、さまざまな立場からご意見をいただきたい

4 会長・副会長の選任について

委員の互選により、田村委員を会長に選出。

会長に就任した田村委員が、石橋委員を副会長に指名。

↓

(田村会長あいさつ)

委員の皆様、2年間どうぞよろしく申し上げます。

コロナ禍により先が見えない昨今、辛い日々が続いているが、中でも子どもたちの学校の活動が制限されていることが辛く感じる。今しかないこのときを大切にして、早く日常生活が戻ることを切に願う。

大垣市立図書館の運営については、以前より委員の皆様から様々な意見を賜り、市教育委員会も前向きにとらえ、ずいぶん努力していただいた。先ほど教育長が言及した電子書籍の導入をはじめ、図書館の中のシステムも、以前に比べると大きく進化したと感じている。今や小学校でもITが進化しており、そ

うした社会の変化に図書館も追従する必要があるが、予算が厳しい中で前向きに対応してもらっていると思う。

委員の皆様には、今後も引き続き忌憚のない意見をいただきながら、事務局もそれを受けて前進していただきたいと思います。

5 報告事項(1) 図書館の概要について



(各委員) 質疑なし

6 報告事項(2) 令和2年度の事業報告について



(西田委員)

墨俣小学校の図書館まつりに協力、指導をいただき、充実したものとなったことに対し、あらためて感謝したい。今年度の教育研究会の図書館部会でも図書館職員に講演していただき、各学校の図書館部員も喜んでいました。図書館職員が各方面へ出向き、精力的に情報発信したり、限られた予算や人員の中で努力されていることに敬服する。

私が顧問を務めている幼保園長会にも先日、図書館職員に来ていただいたが、いろいろなアイデアを提供してもらい、たいへんうれしく思っている。ブックスタートと同様、特に低年齢の子どもたちの読書意欲の推進に有益な話をしていただいた。

また、コロナ禍で多くの学校行事が中止となった中、「お話の会 大きな樹」の方々に読み聞かせに来ていただいたが、学校や地域のスタッフが行う読み聞かせとは、まるで違うと感じた。演出があつたり、掛け合いのように朗読されるため、学校図書館が努力してもかなわない本物のすごさのようなものを実感したし、こうしたものを体験することにより、国語の時間の子どもたちの朗読にも生きてくると思った。読書に関する様々な企画や事業を学校が見習い取り入れていくための指導をしていただいたことに感謝したい。

(佐久間委員)

コロナ禍により、人前で声を出したり、人を集めたりすることなどに制約がある中、こうした機会が与えられ、活動できたことはありがたく思っている。

「大きな樹」は発足以来40年間活動してきたが、去年は、初めて空白の1年となった。現在はまだ従来のような活動はできないが、今後も活動を続けていきたいと思っている。

図書館が企画した「お楽しみパック」などは、私たちでもワクワクするし、こうしたことを機に読書へのつながりができていくと思うので、今後ともよろ

しくお願いしたい。

(田村会長)

子どもたちを支え育てるのは学校だけではなく、地域やボランティアの応援なども必要であり、小さいときに得た読書習慣は大事だと思う。

7 報告事項(3) 令和3年度図書館の利用に関するアンケート調査報告結果について

↓

(田村会長)

図書館アンケート調査に対して、利用者の方々が真剣に回答している印象を受ける。事務局も対応できる部分は対応したという報告をいただいた。アンケート調査は、実施して回収して、調査結果をまとめるだけではなく、具体的にこのように改善したとか、この事案については検討中など、フィードバックするとよいと思う。こうした対応により回答した利用者も納得するのではないか。また先ほど除菌機設置の話があったが、こうした取組みをもっと公表したり、対外的に宣伝やプッシュした方がよいと思われる。

駐車料金の無料時間に関する要望について、1時間を無料にする要望は実現したが、完全無料化は難しいのか。

(事務局)

スイトピアセンター全体の共有駐車場で図書館専用の駐車場ではないため、完全無料化は難しい。

(福井委員)

お住まいの地区が図書館から近い人は図書館をよく利用しているようだが、地域の地区センター等で取り扱っている予約図書配本サービスについては知らない方もいると思うので、こうした図書館サービスを実施していることをもっと対外的にPRしてもいいのではないか。

(田村会長)

アンケート調査報告書のp.27「職員の個人情報に対する意識の向上を図って欲しい」とあるが、これはどういうことなのか。

(事務局)

回答者の真意は不明である。図書館の貸出票には貸出者の番号は表記されるが個人名は表記されないし、図書館システムのモニター画面も利用者側からは

見えない配置となっている。どのような状況に対する意見なのかが不明なため、個別対応ができず、どう対応すればよいのかわからないのが現状である。

(田村会長)

昨年の図書館アンケート調査結果と同様、今回も窓口職員の対応が良かったとする割合が高い結果 (p.24) が出ており、これは評価すべきことだと思う。

個人情報に関して、自分が借りた図書の履歴もわからないようになっているのか。

(事務局)

本の貸出状況はわかるようになっているが、返却後は履歴は残らないようになっており、個人情報保護の観点からも、誰がどのような本を借りたかはわからないようにしている。利用者から、自分が借りた本の履歴を知りたいと言われる方がいるが、貸出履歴のデータは残らないため、読書手帳や読書メーターで各自記録を残してもらうように案内している。

8 報告事項(4)先端技術を活用した図書館サービスの充実(電子書籍の充実)に向けた株式会社アルファポリスとの連携について、報告事項(5)先端技術を活用した図書館サービスの充実に向けた京セラコミュニケーションシステム株式会社との連携について

↓

(石橋副会長)

新しく導入されたシステムは良いと思った。今年3月の協議会的时候には、電子書籍は郷土資料のみとなっていたが、その後、どのような経緯で(株)アルファポリスとの連携に至ったのか。

(事務局)

今年の3月、電子書籍の充実に関する市議会の一般質問があったため、それに対して、電子書籍の充実を図るために民間企業と連携を検討していきたいと回答した。その後、市教委の寺嶋局長が(株)アルファポリスと連携協定について個別協議し、図書館のホームページに絵本の電子書籍を無償提供していただけるという話が急遽まとまった。

(石橋副会長)

(株)アルファポリスと連携協定は全国的にも珍しいと思われるが。

(事務局)

(株)アルファポリスが自治体と連携協定を締結するのは、全国でははじめてではないかと思われる。

(寺嶋事務局長)

電子書籍を導入している自治体はあるが、本市ではどのようなものを取り扱うべきかを精査した。他都市とは違うことをやってみたいということをして市教委内部で話し合った結果、紙媒体ではない本、すなわち、電子書籍しかない本を取り扱うこととし、(株)アルファポリスが取り扱う紙媒体の本になっていない前段の絵本作家の作品を取り扱うことになった。毎月10冊ずつ絵本を提供してもらっており、徐々に増えつつある。

(石橋副会長)

電子書籍へのアクセスがどれくらいあったかはわかるのか。

(事務局)

絵本ごとにクリックした数がカウントできるが、一番アクセスが多かったものでは、5/11～6/28の間で、125回閲覧された絵本もあった。

(石橋副会長)

かなり利用されているようなので、取り組みとしては良いスタートだと思う。図書館サービスとして、しっかり機能していると感じる。

(教育長)

大人が読んで面白い絵本が揃っているため、委員の皆様もぜひ一度見ていただきたい。

(田村会長)

電子書籍の絵本は一般の人でも閲覧できるのか。

(寺嶋事務局長)

図書館ホームページにある大垣市電子図書館の「絵本ひろば(株)アルファポリス提供」のバナーをクリックすれば、あたかも図書館で本を読んでいるような感じで絵本を読むことができる。

(石橋副会長)

10代～30代までの若い世代は(株)アルファポリスを知っているが、それ以外

の世代では知らない人も多いので、そうした点では会社のPRにもなり、良いのではないか。

(西田委員)

私も(株)アルファポリスの電子書籍を見たが、たいへん興味深く、良い絵本が揃っていると思った。どの子どもたちも読むことができ、大垣市図書館の電子書籍は充実したと思う。一方で、先賢マンガの電子書籍を読みたい場合は、ログインに利用者ID(図書カードの利用登録)が必要といった課題もある。

学校図書館の本も市の図書館の本も公共的な共有財産であり、学校図書館と市図書館の図書館システムを共通化し相互利用できるようなになれば、こうした絵本を学校の子どもたちも、利用者IDなしで見ることができるようになる。これを実現するには図書館システムの大規模な変更が必要になるため、難易度は高いが、今後の目標としてもよいのでは。

(事務局)

現在の市図書館システムは京セラコミュニケーションシステム、学校図書館システムは富士通となっており、これらを共通化するには、大規模なシステム変更が必要になってくるので、今後の検討課題としたい。

(田村会長)

利用者の利便性などを考慮すると、図書館システムを統一することは望ましいことである。

最近はいろいろなカードが出回り、多くのカードを所持しているため、図書館の利用カードを探すのにも苦勞する。そうした点では、スマホで利用できる図書館利用カードシステムの導入は便利だと思う。

(福井委員)

子どもたちにタブレット端末を提供しているが、それを利用して電子書籍を読むことはできないのか。

(事務局)

タブレット端末を利用して、図書館のホームページから(株)アルファポリスの電子書籍は誰でも読むことができるが、先賢マンガなどの電子書籍については貸出の形式となっているため、ログインに利用者IDとパスワードが必要となる。

(近藤委員)

利用者IDは、はじめての人でもホームページ上で取得できるのか。

(事務局)

最初は図書館へ来館いただき、図書館の利用カードを作る必要がある。ただし、一定の利用登録要件がある。

※利用登録要件

- ①大垣市内のお住まいの方
- ②大垣市内に通勤・通学されている方
- ③大垣市に隣接する市町にお住まいの方

9 報告事項(6) 図書館における新型コロナウイルス感染症対策について

↓

(田村会長)

今年度もさらなる感染症対策をしていただいております、こうしたことにより、安心して図書館を利用できると思われるので、今後も引き続き、感染症対策の継続をお願いしたい。

閉会 15:25